

留 学 報 告 書

記入日:2019年6月13日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	オーストリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウィーン大学 現地言語: Universität Wien
留学期間	2018年9月～2019年2月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	音楽理論・言語学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年2月3日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:10月～1月 2学期:5月～8月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	88,000
創立年	654

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	470	61,100 円	大学の学費は留学のためなし(明治大学の学費は払う)。記載の額は Summer intensive course German の費用。
宿舍費	1,916	249,080 円	返金されるデポジット 900 ユーロ(117,000 円)を除く。
食費	1,036.64	134,763 円	
図書費		円	
学用品費	111.06	14,438 円	ノート、ペン、ファイルなど。
教養娯楽費	30	3900 円	博物館や宮殿を巡った。
被服費		円	
医療費	15.6	2,028 円	薬局での薬代。
保険費	689	89,570 円	形態:プラン①
渡航旅費	1,176	152,860 円	e チケット。
雑費	136.73	17,775 円	
その他	185.12	24,065 円	日本からの荷物で一度巨額の関税をかけられた。
その他	256.2	33,306 円	ホテルの宿泊費。
その他	63	8,190 円	SIM カードのトップアップ費。
合計	6,085.35	791,075 円	

渡航関連

渡航経路:ドーハ空港経由(カタール航空)

渡航費用

チケットの種類	往復 e チケット
往路	_____
復路	_____
合計	152,860 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方ウィーン・オーストリア

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

私立寮(大学による斡旋なし)

2)部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数1人)

3)住居を探した方法:

Housing Anywhere (Web サイト)

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮は設備を確認したほうが良いです。安い寮は冷蔵庫がかなり古いものだったり、洗濯機やコンロ(IH)が常に故障中だったりします。また、コインランドリーが主流であるため、50 セント硬貨を多めに持っておくことをお勧めします。アメリカン・エクスプレスを使用できないことがあるので、カードは VISA か Master をお勧めします。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会がなかった 利用した: Krankenhaus der Barmherzig という病院にかかりました(日曜日に腹痛がおきたのですが、土日に開いている病院が数少なかったです。さらに、薬局に至ってはほとんどが締まっており、電車で 30 分ほどかけて開いているところまで行きました)。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

International Office の方やウィーン大学で組んでいただいたバディーに相談していました。私のバディーは日本学部所属の 4 年生で、大阪大学に 1 年間留学した経験をもつセルビア人の正規留学生でした。彼には銀行口座の開設の仕方を教わったり、ドイツ語の本の英訳をしてもらったりして、とても助かりました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館からメールが来るようになっていました。貴重品は常に身に付けていました。寮の掃除婦にタオルを盗まれたことがありましたが、証拠がなく解決に至りませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話は Drei という会社の SIM カードを入れて使っていましたが、電波が悪い(特に屋内ではなかなかつながりにくい)です。SIM カードはチャージ式で、月に 1 度トップアップコードを購入し 1 枚を継続利用していました。フリー Wi-Fi は、大学以外にも、ショッピングセンター、カフェ、マクドナルドなどで利用することが可能です。寮には Wi-fi 設備がなかったため、ルーターを持参し LAN ケーブルで接続しました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の銀行口座からクレジットカードを使って引き出していました。寮費の支払いのため、Erste 銀行の口座も開設しました。口座の開設にはパスポートと留学生であることを示すドキュメント(u.space からダウンロードできます)が必要です。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

和食に使うもの(特に出汁や切り餅)は手に入らないので、あると良いです。寒いのが苦手な人はカイロを持っていくと良いかと思いますが、私はそこまで寒くは感じませんでした。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 就職課程を取っているので、4年次の負担が増えると予想されますが、今のところ意識の変化はありません。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
20 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 11 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Oral Communication	口頭コミュニケーション
科目設置学部・研究科	翻訳学部/異文化コミュニケーション学科
履修期間	10月-1月
単位数	2 ECTS
本学での単位認定状況	(2/3 単位なるため認定されず)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Camilla Nielsen
授業内容	スピーチ/プレゼンテーションの特訓をします。2回の個人プレゼンテーションのトピックは「自分のお気に入りの街」と「自分の興味のあること」でした。
試験・課題など	個人プレゼンテーション(2回)
感想を自由記入	Camilla 先生が丁寧なフィードバックをくださるので、スピーキングに自信をつけられる良い機会になりました。プレゼンテーション時間は長めで、他の学生のプレゼンテーションを自分の能力向上のために熱心に聞いていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Urban Sociology		都市社会学	
科目設置学部・研究科	社会学部/社会学科		
履修期間	10月-1月		
単位数	5 ECTS		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	Yuri Albert Kyrill Kazepov		
授業内容	都市の歩みについて、文化的側面・経済的側面・空間的側面・政治的側面などから研究した論文を毎回読んで討論し、その研究を掘り下げていきます。		
試験・課題など	個人プレゼンテーション(1回) セミナー論文(A4・本文7ページ/3000語程度)		
感想を自由記入	社会学は私の専門ではないため、ついていくのは少し大変でした(特に専門用語など)が、他のセミナーメンバーとディスカッションしているうちに理解が深まってきて、論文も自分の興味のある分野と関連付けて”Spatial Dimension of the Japanese High School Students' Academic Performance”という題で書くことができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Psycholinguistics		言語心理学入門	
科目設置学部・研究科	音楽理論・言語学部/言語学科		
履修期間	10月-1月		
単位数	3 ECTS		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に(不定)分が(不定)回		
担当教授	Agnes Lukacs		
授業内容	言語習得・言語構造・言語の歴史・生物学的な視点での言語研究・言語と脳科学についての講義を聞きます。		
試験・課題など	期末試験のみ		
感想を自由記入	入門という名づけの割には、主に脳科学的な分野で専門性の高い内容を学ぶため、やや難しく感じましたが、人間の言語習得のメカニズムについて詳しく知ることができ、より興味が深まりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Education and Culture - Language, culture and education (in)equality		教育と文化・言語、文化と教育の(不)平等性	
科目設置学部・研究科	教育学部/教育学科		
履修期間	10月-1月		
単位数	5 ECTS		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に195分が1回		
担当教授	Nicole Gotling		
授業内容	文化や言語の違いが学校教育に及ぼす影響についての論文を毎回読んで討論し、教育機関が目指すべき姿などについて研究します。		
試験・課題など	グループ・プレゼンテーション(1回) セミナー論文(A4・本文10ページ以上)または期末試験		
感想を自由記入	毎回のリーディング・アサインメントは読みごたえがあり、言語によって生まれるさまざまな壁について新たな発見がいくつもありません。なにより Nicole 先生がとても優しく楽しい先生で、私が所属したセミナーの中で最も活気があったと感じています。セミナーのメンバーには50歳を超したコロンビア人の女性がいて、多様性を肌で感じたうえ、半世紀にわたる人生と絡めた彼女のコメントの秀逸さもとても印象に残っています。”The Ideal Situation for English Education in Japan”というタイトルのセミナー論文を書きとても良い評価をもらったのも、このセミナーが楽しかった証拠かと思えます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Culture and Communication		文化とコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	翻訳学部/異文化コミュニケーション学科		
履修期間	10月-1月		
単位数	5 ECTS		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Antonina Lakner		
授業内容	批判的談話分析を用いて文化とコミュニケーションの関係について資料に基づいて分析します。クラスはディスカッションが主です。		
試験・課題など	セミナー論文テーマ発表プレゼンテーション(1回) セミナー論文進捗状況報告プレゼンテーション(1回) セミナー論文(A4・本文10ページ以上)		
感想を自由記入	批判的談話分析(Critical Discourse Analysis)という方法を始めて知ったのですが、Antonina先生が優しくサポートしてくださって、"The Depiction of European Events around WWII in Japanese History Textbook"というタイトルでセミナー論文を書くことができました。セミナーメンバーの一人にオーストリアの歴史の教科書を借りてパディーに英訳してもらい、母に日本から自分が使っていた世界史の教科書を送ってもらって、2つを比較・分析しましたが、日本の教科書がいかにニュートラルな表現を使っているかがよくわかり、日本について見つめなおす機会にもなりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Culture and Communication		文化とコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	翻訳学部/異文化コミュニケーション学科		
履修期間	10月-1月		
単位数	5 ECTS		
本学での単位認定状況	(単位認定出願せず)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Sybille Pot d'or		
授業内容	ユング心理学について学び、ユングの「12のアーキタイプ」に基づく映像作品の登場人物の分析をします。		
試験・課題など	グループ・プレゼンテーション(2回) セミナー論文テーマ発表プレゼンテーション(1回) セミナー論文(A4・本文10ページ以上)		
感想を自由記入	ユング心理学は明治大学の教育心理学の授業で触れた程度であり詳しくなかったのですが、「12のアーキタイプ」をキャラクターに当てはめていくという人物分析の方法は新鮮で面白かったです。私は"The Iron Lady"のマーガレット・サッチャーに焦点をあてて論文を書きましたが、先生の論文の評価が厳しく、なかなか難しいセミナーに感じました。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL iBT 試験を受ける。
10月～12月	
2018年 1月～3月	二次募集で留学先がウィーン大学に決定。
4月～7月	学部間共通科目のドイツ語会話 I を履修する。 プレレジストレーションをオンラインで行う。 出願書類を記入し、国際教育事務室に提出する。 寮を探して契約する。 Summer Intensive Course に登録する。
8月～9月	出国/到着。 Summer Intensive Course の A1.1 を履修し、Course 末試験に合格する。 オリエンテーションを受ける。 Uバーン・Sバーン・トラムを使って市内を観光する。 ウエストバーンを使ってザルツブルクを観光する。
10月～12月	大学の授業を受ける。
2019年 1月～3月	1月まで授業で、2月の初めに帰国。 セミナー論文をEメールまたはマイ・ページで提出。 留学報告書入力開始。
4月～7月	4月末に成績表が到着。 6月中旬に単位認定。 留学報告書入力完了。
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	中学生のときに英語の発音を褒められたことをきっかけに、異なる文化を背景を持つ人々のコミュニケーションの懸け橋になる仕事に将来就きたいと思うようになり、まずは自分が異文化を実感するべきと考えて留学することを決めました。異文化の理解はその文化圏に属する人の考え方を理解する手掛かりにもなります。漠然としたヴィジョンにも思えますが、その中の選択肢の一つである英語の教員免許の取得も目指しているので、日本語をなるべく使えない環境に自ら身を置くチャレンジは、その点でも良い経験になると思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	ウィーンは英語圏ではなかったため、新たにドイツ語を勉強する必要がありました。しかし、もともと志望する予定ではなかった留学先であったため、一年生のときにドイツ語を勉強しておらず、半年間で身に着けた程度のドイツ語しか話せなかったため、第二外国語の選択は先々のことを考えてするべきだと思いました。また、TOEFL iBTはもう少し高いスコアを取りたかったです。国際日本学部の学生であれば、TOEFL Preparationを履修しておくと思いいます。
この留学先を選んだ理由	もともと第1志望に挙げていた留学先もそうなのですが、できれば第一公用語が英語ではない国に行こうと思っていました。理由としては、日本と同じように英語を母国語としない国がどのようにしてグローバル化する社会にどのように対応しているのかということに興味があったからです。その中でウィーンを選択肢に入れた理由としては、人口の半分が他国から来た人々であるという事実を知って、どのようにしてそういう街になったのかが気になったことが挙げられます。
大学・学生の雰囲気	学生も様々な国から来ており、多様性があります。ドイツ語の文書などが出てきたときにはパディーを含め何人も優しいメイトに助けられました。パディーの交友関係が広いこともあって、多くの日本学部の学生と知り合うことができ、言語交換をしたり、自分の国について教えあったりと、彼らと楽しく過ごしていました。先生方も、英語を母国語としない学生へのサポートを欠かさない優しい先生ばかりで安心して留学生生活を過ごせました。
寮の雰囲気	各エリアに共有のキッチンがあるのですが、そこで会うとみんな挨拶をしてくれたり、時間があるときは立ち話したりして交流していました。10部屋以上あるエリアに1つのキッチンしかなかったのですが、みんなで譲り合って使っていたので、トラブルは全くありませんでした。キッチンには円卓が二つあって、そこでカードゲームなどをすることもあったり、地下のバーで集まることもありました。私はお酒が飲めないので、みんなとの会話を楽しんでいました。
交友関係	大学・寮での交流は前述したとおりですので、省きます。毎週水曜日の夜に、日本に興味のあるウィーンに滞在・在住している人たちと日本人たちの交流会があって、まだ暑いころは大学で、気温が下がってくると呑み屋さんで集まって談笑していました。日本学部の学生はLINEのアカウントを持っている人が多かったため、LINE上でも「友だち」になりました。ルームメイトは親日家のトルコ人で、オーストリアで働いて暮らしている学生だったので、ウィーンの情報たくさん教えてくれました。
困ったこと、大変だったこと	街の人で英語が伝わる方は比較的多いですが、やはりドイツ語でないと分からないという方もそれなりにいました。また、案内表示などはほぼドイツ語のみですので、複合名詞ばかりで訳すのに苦労しました(Google翻訳ですと時折意味不明ですし、自分で訳したほうが勉強にはなります)。また、これは事前に分かってはいたことなのですが、やはり土日や祝日、クリスマス・シーズン等でお店に休まれると不便なものです。買い込んでも賞味期限がすぐに来てしまう牛乳(毎朝必ず飲むのが私のルーティン)とかは困りました。郵便も年末年始は届かないので不便に思いました。
学習内容・勉強について	セミナーの授業を4つも取っていたこともあって、かなりの勉強量だったのではないかなと思います。特に、論文を書くときは、幾つも幾つも参考文献を読みました。また、ディスカッション・スタイルがメインだったので、多様な価値観・考え方を知ることができて楽しかったです。グループ・プレゼンテーションの準備期間を含め、英語で会話する機会は、英語圏でないながらも多かったため、スピーキング力の大幅な向上に繋がったと確信しています。

課題・試験について	セミナー論文を4つも書くことになってしまった(自分で選んだ道なのですが)ので、とても苦労しました。一つ一つトピックが違うので、読んだ参考文献の量も、日本語のものもあったにせよ、それなりだったのではないのでしょうか。言語心理学入門は試験でしたが、割と実験の詳細な問題も出題されて難しかったと感じています。また、都市社会学は与えられた論文についてのプレゼンテーションで、専門ではなかったのですが、苦戦を強いられましたが、評価が悪くなくて安堵しました。
大学外の活動について	先述した水曜日の集会では、オーストリアの生活事情をよく知ることができました。税率が地域によって違うことには驚かされました。また、学生の中に日本のアニメが好きな子は多かったのですが、彼らによると、オーストリアには日本で放送された1~2年後にならないと新たな作品が入ってこないで、インターネットでグレーゾーンの視聴サイトを利用して視聴することがほとんどだと言っていました。確かに、ウィーン市内でありオーストリア国外のコンテンツを見かけることは少なかったように思います。
留学を志す人へ	「留学」は「留」まって「学」ぶと書きますが、動いていないと何もしない間にあつという間に時間が過ぎてしまうと思います。充実した留学生活を送りたいのであれば、大学の授業もただ単に受けるのではなく、クラスメイトと積極的に交流して日本のことをどんどん発信し、学外では、様々な場所へとにかく足を運び、その国の文化に触れましょう。電車やバスが発達している国であれば、なるべくタクシーは使用せずにそういった公共交通機関を利用してトラブルがあってもすぐに大学や寮、ホームステイ先等に戻れるように地理的な情報をインプットしつつ、街を観察してみると良いと思います。私の場合、深夜に乗っていた地下鉄から出火して、知らない駅で降ろされたことがあり、とりあえずトラムの停留所が見えるまで歩き、そこから知っている電車が通っている駅まで乗って寮に戻りました。また、大使館からのメールはよく読んでおきましょう。銃撃事件など、特に年末は物騒な事件が起こることがあります。使用できるクレジットカードや、現金社会なのかどうか(ウィーンは未だ日本よりも顕著な現金社会でした)、買い物の仕方(先述した通り、ウィーンは土日・祝日・クリスマス・シーズンはほぼすべての店がお休みで、買い物袋は常に常備していないと買う羽目になります)、水道事情(ウィーンは飲めます)等、日常生活の必須事項はよく調べておきましょう。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
	自習	自習	授業	自習	ドイツ語独学	市場	自由時間
午後	授業	授業	自習	自習	ドイツ語独学	市場	自由時間
	〃	自習	授業	授業	ドイツ語独学	自習	自由時間
夕刻	自習	自由時間	〃	〃	自由時間	自習	自由時間
夜	自由時間	自由時間	日本人と日本に興味のある現地の人との交流会	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間

Report of Program Activities (Study Abroad Program)

Date: year month day

School/Graduate School·Major At Meiji University	School of Global Japanese Studies
Country of your study abroad	Austria
Name of the host institution	University of Vienna
Study period	year2018month9~year2019month2
Grade when you started the program	year2(year at your departure)
Grade you belonged to at the host institution	year2(year you have belonged to at host institution)
School you belonged to at the host institution	<input checked="" type="checkbox"/> Directorate of Studies 16 – Musicology, Linguistics <input type="checkbox"/> Haven't belonged to specific school.
Date of return	year2019month2day3
Expected year of graduation (from Meiji University)	year2021month3
Information of Host Institution	
School type	<input checked="" type="checkbox"/> National <input type="checkbox"/> Public <input type="checkbox"/> Private <input type="checkbox"/> Other
Academic calendar	Semester1 : Beginning of October~End of January Semester2 : Beginning of May~End of August Semester3 : (e.g./Semester1: Beginning of April~End of July, Semester2: Middle of September~Beginning of February)
Number of students	88,000
Year of founding	654

Fees	Local Currency (Euro)	Yen	Note
Tuition	470	61,100yen	Fee of Summer Intensive Course.
Housing	1916	249,080 yen	Deposit is excluded.
Food	1036.64	134,763 yen	
Books and Text books		yen	
School Supplies	111.06	14,438 yen	Notebooks, files, and so on.
Recreation	30	3,900 yen	
Clothes		yen	
Medical	15.6	2,028 yen	
Insurance	689	89,570 yen	type:Plan 1.
Travel expense	1176	152,860 yen	
Petty expense	136.73	17,775 yen	
Other	185.12	24,065 yen	Custom
Other	256.2	33,306 yen	Payment for hotels
Other	63	8,190 yen	Payment for top-up code.
Total	6,085.35	791,075 yen	

Travel Information

Route: Via Doha Airport (Qatar Airways)

Travel Expenses

Ticket type E-ticket

Outward _____

Return _____

Total 152,860 yen

Travel company you used, guidebooks, or any other resources you referred during the preparation:

“How to Walk the Earth: Vienna & Austria (Chikyu no Aruki-kata: Wien·Austria)”

Accommodation

1) Housing type (e.g.: apartment, dormitory of host institution etc.)

Private dormitory (There is no arrangement service by the university.)

2) Room type

Single OR Living with others (Number of room mate 1)

3) How did you find the residence?:

Housing Anywhere (Website)

4) Comments : (Describe your life at the housing and advise to students who are willing to study abroad.)

Equipment should be checked. Some cheap dormitories have such old refrigerators and/or disfunctional IH cooker and so on. Also, because coin laundry is often used in this country, having a lot of 50 cents coins is recommended. At many stores, you cannot use American Express card, so you should bring VISA or Master.

Local Information

1) Have you gone to any hospitals during studying abroad? Are there any clinics or medical offices at the host institution?

No,

Yes: Krankenhaus der Barmherzig (Because the stomachache happened on Sunday, I had to search for a hospital which is open. There are few hospitals opening on Saturday and Sunday. Additionally, you cannot easily find an opening pharmacy on the days.)

2) Who did you consult with if you have any problems? Is there any specific office where you could consult at the host institution?

A staff in International Office or my “buddy” at University of Vienna. My buddy belongs to the faculty of Japanology and he is good at speaking German, English, and Japanese. I can never thank him enough for his help with my tasks.

3) How did you get information on risk management? Have you encountered any dangerous situations or crimes during your stay? If yes, how did you deal with the problem?

E-mails were sent from the embassy. I always take my important stuffs with myself. One of my towels was stolen by a cleaning lady, but there was no evidence.

4) Are there any troubles or comments regarding the use of PC, cell phones, and the Internet?

(e.g.: The Internet environment at the dormitory was unstable and it stopped once a week. I could connect the Internet at café in the town, so I visit it during the time.)

The SIM card provided by Drei is not so good in terms of its quality, but it is convenient because, once you buy it, you can continue using one SIM card by buying top-up codes. Free Wi-Fi services are given in many places such as campuses, McDonald's, shopping centers, cafes, and so on. The dormitory does not have a Wi-Fi service, so I brought a router from Japan.

5) How did you bring your money?

(e.g.: I opened a bank account at a local bank and asked my parents to make wire transfers. The bank account couldn't be opened before completing alien registration there. I also used my credit card for shopping.)

I withdrew money with my credit card from ATM. To pay the dormitory fee, I open an account of Erste Bank (your passport and certification document on u:space are needed when you open your account).

6) Are there any items you should have brought from Japan?

Japanese food like dashi and ricecakes. If you do not like cold places, you should bring pocket heaters or stuffs like them.

7)【Fee-paying program】The way and timing you have paid the tuition and fee. (e.g.: Paid by my own credit card)

before departure / Opened a bank account and made the payment through it after arrival/ Received the information from the host institution before departure/ Informed how to make the payment at the orientation after arrival/ and etc.)

After Graduation

1) Career plan after graduation

Start working Continue studying Not decided Other:

2) Any documents, book or organizations referred when you decided your career plan.

3) If you will start working, please mention the company and the reason why you decided to join it. (Not mandatory, writing the name of company only is also accepted.)

※For 1st~3rd year students who are going to start job hunting, please describe which industry you want to work for. (not mandatory)

4) Any advices or comments regarding your job hunting.

※For 1st~3rd year students who are going to start job hunting, please describe your motivation toward it or any changes occurred on your career plan through studying abroad.

I am taking the teaching license program, so tasks at the 4th grade are more than usual, but my awareness has not changed so far.

5) If you will continue studying, please write the institution you are going to.

6) Any advices for students who wish to continue studying after studying abroad (about preparation for examination, and etc.)

7) If you selected "Other" above, please describe your plan and provide some advices to the students who wish to study abroad in the future.

Report of your study(Describe the details of all the classes you took)

1) Number of credits you' ve earned	Number of Credits you converted (at Meiji University)
20Credits	<input checked="" type="checkbox"/> 11Credits <input type="checkbox"/> Haven' t requested to convert any credits (Reason:)
2) Please describe each class you took during studying abroad including advice for students who wish to study abroad. If the space is not enough, make another document (A4 size) and attach it to this report.	
Name of the class:	
Oral Communication	
Faculty	Transculture Communication
Duration	Oct-Jan
Number of credits	2 ECTS
Number of credits converted to Meiji	(Conversion unavailable because it would be less than 1)Credit
Class style	Lecture(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	90minutes *1 times per week
Professor	Camilla Nielsen
Contents	Speech/presentation practices. This year's themes of presentations were "your favorite city" and "what you are interested in now."
Test, Homework etc.	Individual presentations (twice).
Comments / Advice	Professor Nielsen's feedback was so helpful to improve my speaking skill. During other students' presentations, I listened to them carefully to install new expressions to my knowledge.

Name of the Class:	
Urban Society	
Faculty	Sociology
Duration	Oct-Jan
Number of credits	5 ECTS
Number of credits converted to Meiji	3Credit
Class style	Seminar(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	150minutes 1times per week
Professor	Yuri Albert Kyrill Kazepov
Contents	Analyses and discussions of transitions of cities from cultural, economic, spatial dimensions.
Test, Homework etc.	An individual presentation, A seminar paper (7 pages of A4, 3000 words)
Comments / Advice	Sociology is not my speciality, so following this class was a little hard (Some terms are not my knowledge). However, as discussing with other members, I gradually understood what I did not know and I was able to finish my paper under the title "Spatial Dimension of the Japanese High School Students' Academic Performance."

Name of the Class:	
Introduction to Psycholinguistics	
Faculty	Linguistics
Duration	Oct-Jan
Number of credits	3 ECTS
Number of credits converted to Meiji	2Credit
Class style	Lecture(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	(Indefinete)minutes (Indefinete)times per week
Professor	Agnes Lukacs
Contents	Lectures about linguistic studies such as language acquisition, syntax, history of human language, brain science researches, and so on,
Test, Homework etc.	The final examination only
Comments / Advice	Although it was named "introduction," Tthis course requires a bit high degree of specialization. That is why I was able to learn of the mechanism of human language acquisitions in detail.

Name of the Class:	
Education and Culture – Language, culture and education (in)equality	
Faculty	Education
Duration	Oct-Jan
Number of credits	5 ECTS
Number of credits converted to Meiji	3Credit
Class style	Seminar(tutorial, lecture, etc.)
Class frequency/ hours	195minutes 1times per week
Professor	Nicole Gotling
Contents	Discussing the gaps amongst educations that the differences of cultures and languages have brought and making a research about what educational institutions have to do as the solutions.
Test, Homework etc.	A group presentation, A seminar paper (more than 10 pages of A4)
Comments / Advice	Every reading assignment was worth reading and a lot of new findings about the walls the difference of languages brought became my knowledge through them. This seminar was the liveliest among the seminar I belonged to. There was a female Colombian student who was over 50 years old in this seminar. I felt diversity and enjoyed her talking. I wrote a paper under the title "The Ideal Situation for English Education in Japan" and got the best evaluation from Professor Gotling.

Time Chart for the Study Abroad

January ~ March, 2016	*Although, on the left zone, "2016," "2017," "2018" are written, they are actually "2017," "2018," "2019" (The writer of the prototype of this document has mistaken).
April ~ July	
August ~ September	TOEFL iBT
October ~ December	
January ~ March, 2017	Where to go decided: University of Vienna (decided on the secondary recruitment)
April ~ July	Taking "German Conversation 1" on the common track amongst all the faculties Online pre-registration Submission of the application documents to our International Office Searching for the dormitory I was going to live in and making the contract Registration for "Summer Intensive Course"
August ~ September	Departure/Arrival Taking "Summer Intensive Course A1.1 and passing the examination Attendance to the orientation Sightseeing around the city (travelling on U/S-bahns and trams) Sightseeing around Salzburg with Westbahn
October ~ December	University days
January ~ March 2018	University days (till the end of January) Return on 3 February Finishing my seminar papers and submitting with e-mail or on mypage of University of Vienna on the website Starting typing this document
April ~ July	Arrival of my transcription of records in the end of April Unit conversion finished on 8 June Finishing typing this document
August ~ September	
October ~ December	

Report of Study Abroad

Reasons why you decided to study abroad	Thanks to my junior high school teacher's compliment about my English pronunciation, I want to engage into a job which let me be a bridge amongst people with different backgrounds and decided to go study abroad. Transculture understanding can be a clue to understand perspectives of those from different cultures. This future vision seems vague, but as one of my dream is win teaching license, so I believed the challenge of making myself be into the environment where I cannot use Japanese so often would be a great experience for that.
Preparation for study abroad (including things you should have done.)	Since English is not the official language of Austria, I had to start studying German. However, at first, I had chosen other countries as the top three countries where I want to go, so I did not take the German language course when I was a first year student. As my German-language knowledge was only what I learnt during the spring semester at the second grade, the choice of the second language course should have been done carefully. Also, I wanted more high score of TOEFL iBT.
Reason why you chose the institution	I wanted to go to the state where the people do not speak English in their daily life. As same as the country I chose firstly, Austria's official language is not English. My objective was to analyse what the strategies of the countries whose official language is not English like Japan to globalisation are. Additionally, I heard approximately half of the people in Vienna are not Austrian, which made me interested in the reason why the city became like that.
Description of the host institution and students there	The students are from many different countries, so I felt diversity there. Including the buddy, many students kindly helped me with translating German documents. My buddy has many friends, so making many friends were easy, and we enjoyed "language exchanges," talking about our own countries and so on. Teachers are also kind to support the students whose mother tongues are not English like me.
Description of the dormitory you stayed	Each area has a shared kitchen. I enjoyed talking with the flat mates and playing card games with them there. One area has over 10 rooms, but the kitchen was not busy because we made mutual concessions. Also, there is a bar on the underground floor, but, as I cannot drink alcohol, I enjoyed only conversations.
Friendship and community you belong to	Communications in the university and in the dormitory were as above. Every Wednesday, I attended to the meeting which the Japanese people and the people with the interest in Japan participate. In summer, it is held in the university, but, in winter, it is at a bar. The students of the faculty of Japanology are tend to have their LINE accounts, so we shared them. My roommate was Turkish and like Japan very much. He let me know much information of Austria as he has been there since 2 years ago as a student of the university.
Difficulties and how you overcome those things	English was not so useful, so the German knowledge was required than expected. Many of the guide boards are written in German only, which troubles me a little (but Google translation is not recommended because German has many compound terms and they are translated into confusing English or Japanese words by that function). Also, I knew this before arriving, but it was inconvenient that almost all the stores and offices are closed on every Saturday, Sunday, national holiday, and the Christmas season. The food with early open day like milk cannot be stored for so long, so I felt that a pity. I was also troubled by mailing service cancelling in such days.
About your study and research (are of study, levels of the classes, classmates, how to manage your study plans, and etc.)	I took 4 seminars, which made the amount of my study quantitative. In particular, when writing seminar papers, I had to read a large number of treatises. Also, many courses are mainly discussion style, those were enjoyable as chances of learning many types of perspective. Including the participation time for group discussions, there were numerous opportunities to talk in English, so I believe my English speaking skill improved remarkably.

About homework and exams	Writing 4 seminar papers was hard work for me although that was my choice. Each paper topic was different, so the amount of reading was significantly a lot. Introduction to Psycholinguistics's evaluation way was only the final examination and it was a little difficult because some of the questions were about details of experiments. Due to out-of-my-speciality, the presentation about the reading assignment in Urban Sociology course was also hard for me, but the evaluation was not bad.
About extra activities	The Wednesday meeting let me know much information about Austrian daily life. I was surprised at the difference of tax rates amongst areas in Vienna. Also, according to the meeting members, the Animes broadcasted in Austria are provided 1 or 2 years later than Japan, so they are tend to watch Animes through gray-zone channels online. As they talked, I did not see foreign contents (for Austrian) so often in the city.
Messages and advice for students wishing to study abroad	"Ryugaku," which means study abroad is formed of two Chinese characters: "ryu (stay)" and "gaku (study)," but you must not "stay" behind! You must act positively to make your study abroad days meaningful. In class, you should communicate with a lot of friends, starting from you first. Out of class, you should travel around the country with trains and/or buses to learn how the people there live their daily life, inputting the maps of the country. Also, reading the e-mails from the embassy is important for your safekeeping. Other required search items are as follows: available credit cards, cash usefulness, shopping rules, water affairs, and so on.

Weekly schedule during the study abroad (Reference)

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
Morning	Class	Free	Free	Free	Free	Free	Free
	Self-study	Self-study	Class	Self-study	German study myself	Shopping at Nashmarkt	Free
Afternoon	Class	Class	Self-study	Self-study	German study myself	Shopping at Nashmarkt	Free
	↓	Self-study	Class	Class	German study myself	Self-study	Free
Evening	Self-study	Free	↓	↓	Free	Self-study	Free
Night	Free	Free	Meeting	Free	Free	Free	Free